

平成 20 年 3 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社 SANKYO
 代 表 者 名 代表取締役 毒島 秀行
 社 長
 (コード番号 6417 東証第 1 部)
 問 合 せ 先 常務取締役 筒井 公久
 経営企画部長
 (TEL. 03-5778-7773)

平成 20 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 5 月 17 日の決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日) の業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。また、当社は本日付で「配当政策の基本方針の変更および配当予想の修正に関するお知らせ」を別途開示しております。

記

1. 連結業績予想の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	240,000	62,000	65,000	40,000	410.54
今回修正予想 (B)	280,000	70,000	74,000	44,000	451.61
増減額 (B-A)	40,000	8,000	9,000	4,000	—
増減率 (%)	16.7	12.9	13.8	10.0	—
前期実績 (平成 19 年 3 月期)	197,723	54,909	58,466	35,578	365.26

2. 個別業績予想の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	210,000	56,000	59,000	36,000	369.34
今回修正予想 (B)	250,000	65,000	68,000	41,000	420.64
増減額 (B-A)	40,000	9,000	9,000	5,000	—
増減率 (%)	19.0	16.1	15.3	13.9	—
前期実績 (平成 19 年 3 月期)	168,016	50,307	54,344	33,567	344.38

3. 修正の理由

当社グループは、当期においてパチンコ機の商品力強化に傾注し、SANKYOブランドの新パチンコ機枠「クリステラモデル」を戦略商品として市場投入いたしました。TVCMを中心とした積極的なプロモーション展開も奏功し、「クリステラモデル」を使用した「KODA KUMI FEVER LIVE IN HALL」(平成19年7月)、「フィーバー創聖のアクエリオン」(平成19年11月)は、いずれも10万台を超える販売成績を収め、第3弾「フィーバー春のワルツ」(平成20年3月)の受注も好調に推移しております。

また、当第4四半期に投入したBistyブランドの人気シリーズ「新世紀エヴァンゲリオン」第4弾「使徒、再び」(平成20年1月)も過去3作と比肩する期待どおりの販売成績となり、パチンコ機販売台数は、業績予想の前提とした62万台を大きく上回る見込みとなっております。

一方、パチスロ機関連事業、補給機器関連事業につきましては、概ね計画通りの水準で推移していることから、決算発表時に公表した計画を上回る見通しとなり、通期の連結および個別の業績予想を修正いたします。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上